就職決定率95.9%

17年3月卒業生　6年連続アップ

石巻専修大学

就職活動に備えて、石巻専修大学では、きめ細かな指導を行っている。年60回以上の進路支援プログラムに加え、経験豊富なスタッフが一人一人にじっくりと向き合い、夢や目標の実現を後押しする。2017年3月卒業生の進路状況、本学のサポート態勢、活動中の4年次生や地元・石巻で活躍する卒業生の声を紹介する。

17年3月卒業生の就職希望者に対する就職決定率は95・9%（前年度比2ポイント増）となり、6年連続で上昇した。

学部別では、初めて卒業生を送り出した人間学部が100%を達成。本学初の小学校教員も誕生し、学生たちの4年間の奮闘が結実した。

理工学部は97・9%（同4ポイント増）、経営学部は92・3%（同1・5ポイント減）だった。

地域別就職先では、北海道・東北が67・6%（同9・9ポイント増）。県別で見ても宮城県が46・5%（同0・5ポイント減）で、地元志向の高さが分かる。

業種別では、卸売り・小売りが31・9%（同6・9ポイント増）と最も割合が高かった。学部別で見ると理工学部は32・3%、経営学部が36・1%と卸売り・小売りが高く、人間学部は教育・公務が30・0%と、学部の特色が表れた。

主な就職支援行事

1～2年次		◇進路ガイダンス ◇石巻地域企業インターンシップ（夏期休暇中） ※2017年度入学者から「キャリア設計」など正課授業を導入
3年次	4月	◇進路ガイダンス 「履歴書作成講座」 「筆記試験講座」 「業界・職種研究講座」　ほか
		◇インターンシップ（夏期休暇中）
	9月	◇後期ガイダンス 「自己分析講座」 「面接講座」 「先輩たちの就職活動体験談」　ほか
	2月	◇就活直前セミナー ◇就職活動総合セミナー
	3月	◇キャリアガイダンス（本学主催合同企業説明会）
4年次	8月	◇夏・就活応援セミナー ※随時、「学内企業説明会・選考会」を実施

充実の就活支援

本学では進路支援室が中心となって、多彩な就職支援プログラム、各種資格取得講座などを実施し、学生のキャリア意識の向上やスキル習得をサポートしている。

進路支援室は、予約不要、時間無制限で個別相談に対応している。16年度の相談件数は延べ9296件。進路決定者に行ったアンケートでは、利用満足度が91・8%（満足73・6%、ほぼ満足18・2%）と高い。

就活で苦戦する筆記試験の対策では、サポート教材の一つとして『E-TestingⅡ』を用意。インターネット上で本試験に近い内容の模擬試験を受験できる。自宅などの学外で効率良く筆記試験対策が行える。在学生は登録料3500円（通常は6100円）で、19年3月末まで利用できる。

就職支援行事では、3年次生対象の「就職活動総合セミナー」が好評。1泊2日の合宿形式で、何度も模擬面接を体験することで着実に成長し、参加者は毎年高い就職率を上げている。今年度からは2回実施し、最大で60人が参加できる。

今年度の入学生からは「キャリア設計」（1年次生対象）などの正課授業も導入され、自身の将来像を意識させる。

進路支援室は「コツコツと早めに準備することが大切。まずはガイダンスに出席してほしい。分からないことや不安なことがあったら、進路支援室を気軽に活用してほしい」と呼びかけている。

※各行事の情報はホームページおよび、進路支援室公式Twitter、Facebookで。

資格取得対策講座

本学では資格取得に向けた九つの対策講座を開講している。他にも正課授業で取得できる資格、学内で受験できる検定試験などがあり、学生のチャレンジを支援している（別表参照）。

対策講座では、今年度からeco検定（環境社会検定試験）講座がスタート。また、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS2013）試験が学内で受験できるようになる。

石巻専修大学で取得できる資格

資格取得サポート講座
- ▷日商簿記検定受験対策講座（3級）
- ▷FP（ファイナンシャル・プランナー）受験対策講座（3級）
- ▷リテールマーケティング（販売士）検定対策講座（2級）
- ▷eco検定（環境社会検定試験）講座
- ▷マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS2013）試験講座
- ▷ITパスポート対策講座／基本情報技術者対策講座
- ▷3次元CAD利用技術者試験対策講座（2級）
- ▷公務員試験受験対策講座【スタートコース・教養速習コース】

学内で実施される試験
- ▷TOEIC®-IP／日本漢字能力検定試験（2級）
- ▷実用フランス語技能検定試験（1～4級）
- ▷実用数学技能検定試験（1～3級）
- ▷経営学検定（マネジメント検定）試験
- ▷秘書技能検定試験（1～3級）
- ▷MOS2013（Word、Excel、PowerPoint）試験
- ▷eco検定　▷生物分類技能検定

正課授業で取得可能な資格
- ▷教育職員免許状取得【教職課程】
- ▷食品衛生管理者等任用資格
- ▷二級自動車整備士※
- ▷フードスペシャリスト※
- ▷甲種危険物取扱者※
- ▷保育士
- ▷学芸員
- ▷社会教育主事◎
- ▷社会福祉主事◎
- ▷社会調査士【資格認定】
- ▷認定心理士
- ▷認定心理士（心理調査）予定

※は受験資格、◎は任用資格（職務に任用・任命後、有効となる資格）。取得可能な資格は学科により異なります

活躍するOB　石巻唯一の糀店六代目　佐藤光弘さん

佐藤光弘さん（左）と父憲光さん。光弘さんが手にしているのが「華糀」＝島津麹店で

「石巻の復興を後押ししたい」

1909（明治42）年創業から100年以上、宮城県産の米で伝統の技と製法を守り続けてきた石巻市唯一の糀（こうじ）製造・販売業の島津麹店（石巻市旭町）。六代目の佐藤光弘さん（平19石経営）は、2011年の東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた店の復旧に尽力。天然醸酵甘糀飲料「華糀（はなこうじ）」を開発して人気を呼んでいる。

佐藤さんの母方の実家にあたる島津麹店は、震災の津波により被災。店舗・工場などが150センチまで浸水し泥にまみれた。明治時代から使っていた木樽など糀造りの道具は使用不能になり、過去40年分の顧客データを失った。先代は再開を断念した。

復興へ「華糀」編み出す　地元の食文化を次世代に

震災から半年後、福島県郡山市で自動ドアの会社に勤めていた佐藤さんは、父憲光さん（66）とともに工場の掃除や片付けを手伝ううちに後を継ぐ決意を固めた。「100年以上続いた大切な食文化を絶やすわけにはいかない」と言う佐藤さんに憲光さんが賛同した。

糀造りは熟練した技が求められる。仕込みには日々の気温、湿度に合わせ、きめ細かな調整が必要で、発酵状況を見極めながら米を手でもみ、麹菌を一粒一粒付けていく。そんな作業を子どもの頃から見てきた。「糀の良さを次の世代に伝えたい」。震災を経て地元に根を張る気持ちが湧いた。

二人三脚で一からの挑戦が始まった。幸い津波から逃れるように天井などに麹菌が付着しており、島津麹店オリジナルの菌は残っていた。復興庁の補助金を得て店を立て直し、先代まで主力だった仕込み味噌に代わる新商品を模索した。試行錯誤を繰り返すこと数年、華糀を編み出した。

華糀は宮城県産ササニシキ一等米の米と水だけで造られ自然の甘さが持ち味。添加物は一切なく低温加熱により糀は生きたままの状態で保たれており、酵素とビタミンB類が豊富だ。

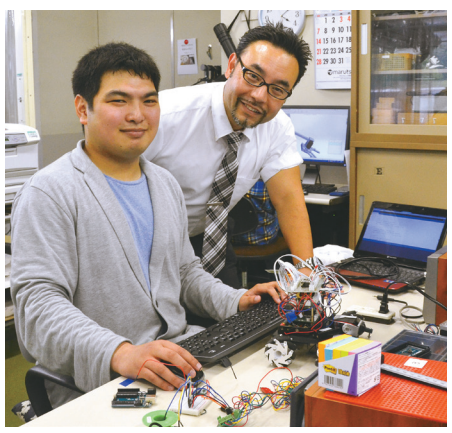
開発にあたってさまざまな人の協力や助言があった。母校の坂田隆理工学部教授（食品科学）もその一人。「牛乳と混ぜて飲むとエネルギーとたんぱく質の両方が取れる」と助言。これは14年11月、華糀売り出しの際のうたい文句となった。折からの糀ブームも追い風になり、評判はじわじわと広がっている。

一般向けのほか業務向けにも力を入れている。石巻市や横浜市のホテルでは、肉料理の味付けやデザート、カクテルにも使われている。販路拡大など新しい売り方は経営学部で学んだことが生かされた。復興庁の14年度復興ビジネスコンテストで優秀賞を受賞。

「たくさんの人に支えられています。世界にも糀文化を広げていきたい」と佐藤さんは夢を膨らませる。

4年次生就活奮闘中

理工学部機械工学科　阿部航平さん（岩手県宮古高）


実験室でロボットを製作する阿部さん（左）。右は指導の水野純教授

ロボットの開発

子どもの頃から夢見てきたのは、友達みたいなロボットを作ること。独学で身につけたプログラミングと大学で学んだものづくりの技術で、人の役に立ち、人を笑顔にするロボットを世に送り出したいと考えました。

1年次のガイダンスで「自分の引き出しを増やそう」という先生の言葉が心に残り、ロボット研究会、オープンキャンパスを運営する学生スタッフ、アルバイト、インターンシップと積極的に参加してきました。

2年次からキャリア教育の科目を受講したことで、早めに準備できたと思います。就職活動総合セミナーでは「その企業で働く自分の未来をイメージして受け答えできるかが重要」と聞き、社会人として何をしたいのか見つめ直しました。

ロボットを開発するベンチャー企業などから内定をいただき、張り切っています。

先入観を持たず、何でも吸収するつもりで行動することを後輩の皆さんに勧めたいです。

人間学部人間文化学科　佐藤ひかるさん（宮城県石巻好文館高）

進路支援室でスタッフからアドバイスを受ける佐藤さん（右）

苦手意識を克服

就職活動総合セミナーをきっかけに、就活への意識が変わりました。他の参加者の活動を聞いて刺激を受け、計3回の模擬面接で面接への苦手意識を克服できたと思います。人と話すことが得意ではないと思っていましたが、むしろ強みだと考えるようになりました。

エントリーシート作成も苦労しました。書き方も分からず、進路支援室へ。何をアピールするかを考え、アドバイスを受けながら書き上げました。自分の考えだけでなく、別の視点を入れることが大切だと思います。

企業へのエントリーは旅行業の7社。同時進行のため、スケジュールや体調の管理に注意しています。集中して活動するためにも、3年次までの生活が大切です。やりたいことにどんどん挑戦し、単位も計画的に取得する必要があります。

旅行業のなかでもインバウンド（訪日外国人旅行）事業に関心があります。日本のことを知ってもらえるようなツアーを企画したいです。